

阿蘇海環境づくり協働会議 令和元年～4年度の取組

1 意識醸成の取組

●「阿蘇海の日」事業（市、町）

毎年、「阿蘇海の日」を定め啓発活動等を実施

年度	実施日	実施概要
R1	宮津市：7月6日 与謝野町：7月6日	7月6日 海岸漂着物清掃活動実施
R2	—	コロナのため未実施
R3	—	コロナのため未実施
R4	宮津市：7月12日 与謝野町：7月18日	宮津市：7月12日 海岸漂着物清掃活動実施 与謝野町：7月18日 海岸漂着物清掃活動実施

●環境ポスター掲示による啓発活動（市、町）

地域の小学生を対象に実施。入賞作品をパネルやポスターにして、地域内で掲出するなど意識啓発も実施

年度	実施内容	応募数
R1	環境改善絵画コンクール	宮津市：63点 与謝野町：176点
R2	環境改善絵画コンクール	与謝野町：160点
R3	環境改善絵画コンクール	与謝野町：156点※
R4	環境改善絵画コンクール	与謝野町：137点

R3年度に「阿蘇海環境づくり協働会議賞」を新たに追加。

●環境学習のサポート（府）

年度	実施内容	実施日時
R1	奥山川にて水質調査方法について解説	7月16日
	野田川にて水質調査方法について解説	9月5日

●野田川及び阿蘇海についての環境啓発活動（府立海洋高校）

年度	実施内容	実施日時
R1	橋立中学校での啓発活動	6月
R3	加悦小学校での啓発活動	5月
	吉津小学校での啓発活動	12月

2 流入負荷の削減に向けた取組

●下水道事業、浄化槽設置補助（市、町）

市町	実施内容	R4実績
宮津市	・高齢者世帯排水設備整備費補助	4件 400千円
	・浄化槽設置費補助	26件 13,791千円
	・浄化槽維持管理費補助	366件 7,320千円
与謝野町	・浄化槽設置整備事業補助	3件 2,077千円
	・水洗便所改造等奨励制度	3件 90千円
	・融資あっせん制度及び利子補給金・	なし
	・浄化槽維持管理費補助	82件 2,555千円 (R3)

《水洗化率》

吉津 R4:81.7% (H30:79.2%)

府中(江尻地区除く) R4:42.4% (H30:42.6%)

与謝野町全体 R4:80.5% (H30:76.5%)

●天ぷら油の回収（市町等）

流入負荷軽減の取組として、NPO法人に協力し、市町庁舎のほか、公民館、観光施設、保育所などに回収ボックスを設置。

また、BDF燃料（バイオディーゼル燃料。植物油（使用済み天ぷら油等）から作られる軽油の代替燃料。）を給食センターの車両で利用。

●浅水代かきの推進（町）

田んぼから栄養を多く含む水が流れないようにする農法である「浅水代かき」を推進。

●自然循環農業（京の豆っこ肥料）の推進（町）

豆腐工場からでたおからを使った「京の豆っこ肥料」を推進し、化学肥料から有機質肥料に転換することで、与謝野町ブランドを確立するとともに、阿蘇海等環境に優しい農業の促進を図る。

●森林保全・里山整備の取組（森林組合）

阿蘇海周辺の森林整備を進めることにより、阿蘇海上流域である野田川流域の環境改善の取組を推進。

●森林保全・里山整備の取組（市、町）

市町村森林整備計画の策定と適切な森林整備の実行監理

3 悪臭・景観対策の取組

●海岸清掃活動（行政・地域団体等が協働実施）

<与謝野町男山区：アオサ回収>

年度	実施日時	参加者	回収量
R1	7月14日(日)	79名	1.77t
R2	コロナのため中止	-	-
R3	コロナのため中止	-	-
R4	7月3日(日)	※荒天（雷注意報）のため中止	

<宮津市府中地区（天橋海岸～大垣海岸）：漂着ゴミ回収>

年度	実施日時	参加者	回収量
R1	7月6日(土)	41名	1.4t
	10月24日(木)	36名	3.4t
R2	コロナのため中止	-	-
R3	コロナのため中止	-	-
R4	7月12日(火)	50名	7.5t
	10月13日(木)	35名	1t

<与謝野町東町区、浜町区（岩滝海岸）：漂着物収集処分>

年度	実施日時
R1	5月、9月
R2	5月、8月、9月
R3	5月、8月、9月
R4	5月、8月、9月、11月

<野田川清掃>

年度	実施日時
R1	10月
R2	コロナのため中止
R3	10月
R4	10月

<迎春天橋立一斉清掃>

年度	実施日時
R1	12月8日(日)
R2	コロナのため中止
R3	12月12日(日)
R4	12月11日(日)

<クリーンはしだて1人1坪大作戦>

年度	実施日時
R1	4月14日(日)
R2	コロナのため中止
R3	コロナのため中止
R4	4月17日(日)

●NPO国際ボランティア学生協会（IVUSA）と連携した阿蘇海清掃

大学生ボランティアを受け入れ、より大規模な清掃活動を実施。また、活動を通じて地元住民との交流を深め、新たな取組の場づくり・環づくりを推進

<カキ殻回収事業>

年度	実施内容	実施日時	参加者	回収量
R1	夏プロ	8月23日(金)～26日(月)	大学生83名 一般64名	約17.6t
	春プロ	コロナ禍のため中止	-	-
R2	-	コロナ禍のため中止	-	-
R3	-	コロナ禍のため中止	-	-
R4	試行	7月3日(土)	大学生13名	-
	夏プロ	8月23日(火)～26日(金)	大学生47名	約6.8t
	春プロ	2月24日(金)～27日(月)	大学生60名 一般22名	約7t

※令和元年度の夏プロの際は、「カキ殻クリーン大作戦」をあわせて実施

(2日間：参加者延べ158名の参加(うち学生ボランティア94名、一般参加者64名))

※令和4年度はコロナ感染拡大防止の観点から、一般参加者は募集せず実施。また、カキ殻回収のほか、阿蘇海一周清掃(ゴミ拾い)を実施

<その他：学生と地元との連携・交流>

年度	実施内容	実施日時	参加者
R1	夏プロ交流会	8月24日(土)	大学生83名 地元25名
	与謝野町婦人会食事提供 (ばら寿司、そうめん汁)	8月25日(日)	約50食提供
R2	上宮津モニターツアー	3月23日(月)	大学生6名

●原木漁礁の沈設(漁協溝尻地区運営協議会)

年2回の阿蘇海清掃に加え、原木漁礁の沈設を実施。

●ちよこっとボランティア（市町等）

阿蘇海とその流域の水質浄化や、ポイ捨てしない環境づくりを行い、阿蘇海周辺、野田川をはじめとする阿蘇海流域河川の美しくするため、ポイ捨てごみを、家族や友だち、各種団体などで気軽に拾ってもらおうという「ちよこっとボランティア（愛称：ちよこボラ）」事業を実施。

いつでも誰でも気軽に「ちよこっとボランティア」できるようステーションを阿蘇海周辺7カ所に設置。専用ゴミ袋の配布、回収ゴミの一時預かりを開始。回収ゴミの処理は市町が行う。

《設置場所》

吉野茶屋（文珠）、一ノ宮汽船乗り場（府中）、阿蘇シーサイドパーク（岩滝）、
クアハウス岩滝、与謝野町役場（本庁舎、野田川庁舎、加悦庁舎）

また、「ちよこボラDAY」と題して、よさの百年の暮らし委員会（愛称：みらいふ）主催による清掃ボランティア活動を実施。

4 阿蘇海流域の「宝」の活用

●カキ殻資源活用の推進（農業者等）

阿蘇海に堆積するカキ殻を回収したのち、土壌改良材として、果樹園・桑畑等の農地で活用。

●潜水調査によるアマモ場の維持管理（府立海洋高校）

海洋高校海洋技術コースにおいて、潜水技術を活かした、アマモ場の調査・種子採集・播種等を実施。宮津湾への流入口付近に分布するアマモ場の様子を継続的に観察・記録（平成23年度から継続して実施）。毎年6月頃に宮津湾からアマモの生殖株を採取し、11

●野田川のサケを見守る活動の推進（町）

野田川にサケが還ってくる10月下旬から12月上旬の前に、後野区や後野農地水組織が中心となって、野田川清掃を実施。毎年度、野田川上流にサケの姿が見られている。

●NPO国際ボランティア学生協会（IVUSA）による環境保護啓発事業

年度	実施内容	実施日時	参加者
R1	工作、見学等	8月25日(日)	延べ4名
	講義・事業所見学等	10月11(金)、25日(金)	大学生4名 吉津小9名
R3	講義	7月8日(木)、10月21日(木)	大学生3名 吉津小7名

●環境学習のサポート（府） ※再掲

年度	実施内容	実施日時
R1	奥山川にて水質調査方法について解説	7月16日
	野田川にて水質調査方法について解説	9月5日

●野田川及び阿蘇海についての環境啓発活動（府立海洋高校） ※再掲

年度	実施内容	実施日時
R1	橋立中学校での啓発活動	6月
R3	加悦小学校での啓発活動	5月
	吉津小学校での啓発活動	12月

5 専門的対策

●阿蘇海水質等調査（京都府政策企画部）

阿蘇海における水環境改善を図るための取組の効果を測定するための調査を実施。また、今後の環境改善に向けた基礎知見をまとめるため、水質の鉛直分布特性を明らかにする調査を実施。

年度	実施内容	委託先
R3	阿蘇海における水環境改善効果の分析	(学)立命館 立命館大学 総合科学技術研究機構
R4	阿蘇海の水質及び底質の空間分布特性に関する分析	(学)立命館 立命館大学 総合科学技術研究機構